



さが市報

No. 588
昭和60年

1月号
(毎月1日発行)

発行所 佐賀市役所(電話代表②3151)
〒840 佐賀市栄町1番1号
編集 市民相談室

12月1日現在	人口		前月比
	男	女	
人	169,340人	80,989人	0
世帯	88,351人	55,315	+5
			-5
			+29

迎春



よきまち佐賀へ 変革をおそれずに

佐賀市民の皆さん、昭和六十年という新しい年の訪れを、皆さんがたともども心からお慶び申し上げたいと思います。
明けましておめでとうございます。

昭和の御代ももう六十歳、あの苦しかった世界大戦が終わってから四十年。あらためてこれまでの年月の移ろい、歴史を思うのです。
佐賀のまちも、この歴史に揺すぶられ、打たれ、流されて生きてきました。

昭和のはじめ、二年の金融恐慌、そして四年の世界大不況とつづく暗く激しい経済の変動の中で、旧鍋島藩制時代から培われた強くて、佐賀市の経済力は衰え去りました。九州屈指の銀行、古賀銀行の破産、同じく民間では九州一だった谷口鉄工所の閉鎖などがある。



佐賀市長
宮島 剛

りました。昭和十年頃、市内を東西に貫く、いわゆる貫通道路の工事が行われ、八田江開き、という大事業も市民を挙げて取り組み、このまちを大いに変え、発展させるバネにしようとの気魄にみちぎった時代もありました。
総じて教育に非常に熱心で、多くの人材を育て上げ、佐賀市民の誇りとした時代が続きました。

過ぐる大戦において佐賀市は大きな戦災を受けませんでした。有難いことでした。
戦災を受けたまちは、灰と廃墟の中で新しい時代の幕あけと受けとめて、雄々しく立ち上がりました。私どものまち佐賀は、よき歴史、風土、人情を守り得たかわりに、いささか覇気と変革の勇気をみがかれる機会を持たなかったような気がします。

あらためて、私も佐賀のまちを大事にして来た先輩市民に負けぬよう、よきまち佐賀をつくるため、元気に、積極的に変革をおそれず、手をとりあつて頑張つてゆきましよう。

年頭のごあいさつ

住みよい佐賀市の実現めざし努力

市民の皆さん、あけましておめでとうございます。新しい年を、ご家族一同、団らんの中で迎えられることと存じ、心からお慶び申し上げます。



佐賀市議会議長
木下 祺一郎

しかし、私たち議会人は、ただ一途に市政の発展と、市民生活安定のため、皆さんのご支援を仰ぎながら相協力して、さらに住みよい佐賀市の実現を目指し努力してまいりたいと存じます。

私たちの郷土は、はぐれ発祥の地として、古い歴史と伝統を誇る街であり、旧藩時代から近世にかけ、さらに現在においても政界・経済界など各界において数多く活躍され、かつて教育都市と言われた佐賀市は、この尊い精神面を支えとして、さらに次の世代に伝承しつつ、時代の変化にも適確に対応しながら市政の発展を念願するものがあります。

市議会は、皆さま方の代表として、その機能を十分に発揮して、市民各位のご期待に沿うよう努力してまいります。
どうか、本年もより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。昭和六十年が市民の皆さまにとりまして幸せな年でありまうようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

今年も「がんばるぞ！」 丑年生まれ大集合

新春特集

干支(えと)でいうと、今年は丑(うし)年。そこで、明治、大正、昭和の「丑」年生まれの市民のみなさんに登場してもらい、今年の抱負や市への要望などを思うままに語っていただきました。さて、今年はどんな年になるでしょう。



山田 彦次さん(84)
本庄町鹿子
(商業)

広い道をつくって
丑の歩みも早いもので、八回目を迎えることができました。人生は、長いようで短いもので、実に感無量です。幸い、体調も十分にあり、これからも地域の役に立てばと思います。お年寄りも気軽に街へ出かけられるように、上飯盛にも南北に広い道路をつくってもらい、バスが通るようにしてほしい。



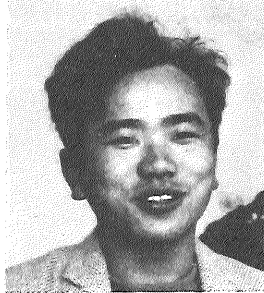
三島 茂子さん(48)
大財五丁目3-3
(主婦)

健康家族が一番
子どもの成長は早いもので、今年、長男が成人式を迎え大人の仲間入り。長女も年頃になりそろそろ結婚のことも考えます。やはり、自分のことより家族のことが一番気になります。母が高齢ですから家族みんなで健康に暮らせるようにと願っています。それに、商売も調子よくいけば、言うことはないですね。



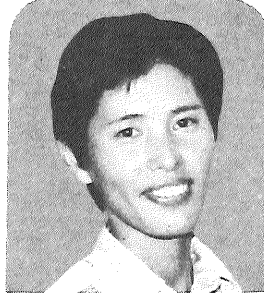
志戸 きよさん(96)
巨勢町高尾
(無職)

もうすぐ白寿
新聞は毎日、すみずみまで読みます。耳は少し遠いけれど、テレビもよく見る。歌やプロレス、とくに相撲は大好き。ひいきは、やつぱり千代の富士。今年も優勝すればいいけれど、ひ孫たちに小遣いをやっつけて、喜ぶ顔を見るのが一番の楽しみ。もうすぐ白寿だから、とにかく、今年も無事に過ごせればいいね。



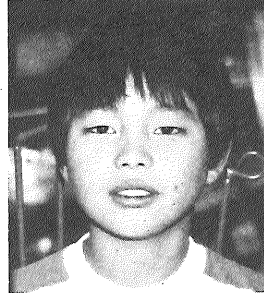
江頭正次郎さん(24)
兵庫町藤木
(農)

魅力ある農業に
もう二三年すれば、親に代わって農業に本腰を入れなければならぬ。今年がそのスタートの時。でも、いまの農業をただ引き継ぐだけでは、やがて不安があります。自分なりに農業で自立できるような農業経営をやりたい。とにかく、若者を引きつけるような魅力ある農業にするためにがんばります。



深川 明子さん(36)
嘉瀬町扇町
(小学校教諭)

スキンシップを大切に
子どもたちには、勉強第一ではなく人間らしい心のある子どもに育ってほしい。いま、非行問題など考えるとき、学校と家庭と社会が協力して子どもを育てていくのだということを認識してほしい。私もスキンシップで子どもの心をつかみ、伸び伸びとした学校生活ができるように精一杯がんばるつもりです。



富増 淳くん(12)
天神二丁目4-32
(神野小5年)

スポーツと勉強
今年は、ぼくの年なので、大好きなスポーツ、とくにソフトボールやサッカーをがんばりたい。それから、勉強は、にが手な国語がよくできるようにしたい。お父さんとお菓子屋さんにしているの、少しでも手伝いを、親孝行をしたい。そして、最後の小学校生活を楽しみ、そして、いよいよと思っています。



江口 勝明さん(36)
松原四丁目7-6
(美容院自営)

続けたい施設、慰問
美容院を開いて、今年が二度目の年男。やつと、一人前になったなあというのが実感です。それでも、気持ちだけは二十代のつもり。うしろらしくコッコンとマイペースで、充実した仕事ができればと思っています。これからも、余裕があれば、福祉施設への美容奉仕にも力を入れていきたいですね。



加藤 タミさん(84)
大財六丁目4-61
(無職)

元気なうちは人の世話
とくに、なんてないけど、今までのこと元気であればよ。足腰が動かんことになって、寝返りまんに気が付いた。ここの数年、老人会の世話人もやってきたし、毎日、巨勢の老人センターに遊びに行けば、友だちがいっぱいいて楽しか。こいからも、元気なうちは人の世話ばしていいと思うてます。



唐島 統子さん(24)
巨勢町高尾団地
(銀行員)

ぜひ海外旅行を
まず、家族の健康。それから、いつも迷惑ばかりかけている両親に旅行のプレゼントをすること。私も念願のヨーロッパ旅行を、ぜひ実現してみたいわ。でも、本当は太ったと言われるからスリムになることが夢。青年団活動でも、今までは違った行事をして、みんなのためになることをやってみよう。



片淵 幸見さん(60)
本庄町本庄
(医師)

目標と初夢
毎年、目標は節酒節煙ですが本年こそは人生の節目に当たる「ほんけがえりの丑年」です。是非とも完遂したいものです。次に初夢は、市役所、保健所、駅までのぼる時。現在、パズルの様な時間的迷走の迷路を辿らずに済む新しい緑の並木道をスライと駆け抜ける場面でありたいと思います。



田中理英子さん(12)
鍋島町江里
(鍋島小6年)

習字の昇段めざす
あと三か月で、中学生になりますが、中学生になったら、バレーボールをやってみようかなーと思います。とてもおもしろそうだし、好きだからです。もう一つは、習字で四段をとることです。このごろは、段が上がついていないので、猛練習をして、昇段試験にちょうせんしてみたいと思います。



鈴木 正さん(72)
今宿町1-4
(団体職員)

健康は心とからだ
今年、七十二歳のコッちゃんも若さを保つため二十年間、夫婦で続けていることがあります。「早寝・早起き。一日一度は、急歩かジョギングで汗を流す。笑顔であいさつを出す。快食・快便で元氣よく、もやもやなくした生活をする。」みなさんも健康のため、体を動かして気持ちよく暮らしましょう。



馬場 重利さん(48)
鍋島町森田
(警察官)

飛躍の年にしたい
四回目の丑年を迎えたが、過去、牛のようなどろりとした力強い歩みはできていない。私は、目下、防犯警察の一翼を担っている。一部で警察不信が伝えられるなど警察を取り巻く環境は厳しいので、少しでも信頼が高まるよう、与えられた分野で牛のごとく従順に、着実に働き、飛躍の年としたい。



松尾 一枝さん(60)
末広二丁目14-32
(酒類・タバコ・小売)

新たな気持ちで趣味を
元日が私の誕生日。みんなが祝いしてくれるので嬉しいことです。今年、還暦なんて。まあ、年齢のことは気にせずに新しい気持ちで、これからも趣味の謡曲と仕舞は続けていくつもり。四月には、五人目の孫ができるし、めでたい年になりそうです。いつも笑顔を保ち、元氣に暮らしていきたいですね。

450



宮島市長の号砲でスタート



大空にける夢とロマン!! 熱気球国際大会から

初の熱気球国際大会が、11月23日から5日間、嘉瀬川河畔を主会場に開催され、12か国から47機の熱気球が参加。佐賀平野にメルヘンの世界を描きだしました。

参加国とチーム数			
	日本 32		カナダ 1
	デンマーク 1		オーストリア 1
	イギリス 4		西ドイツ 1
	スイス 2		オランダ 1
	アメリカ 1		ベルギー 1
			香港 1



浮上するまではこのロープで…。



地元佐賀のメルヘン号。



優勝したJ・スターファームさん操縦のポーラーベア号（オーストリア）



色とりどりの熱気球に歓声！



ニッポンの味は？外国の選手もみそ汁とおにぎり、あめゆに舌つづみ。



パラセールのアトラクション



嘉瀬川河畔会場に延べ約6万2,000人の観衆。



一人乗りの熱気球。



熱気球は、まず風を入れて…。



ガスの炎で 大空に



子どもスケッチ大会には約1,000人ものチビッコが参加しました。



会場にならんだ露店に大喜び。



佐賀の特産物をどうぞ！



地元婦人会の人たちも協力。